



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 アプライド株式会社

コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,695	10.8	301	134.3	303	50.4	209	64.5
28年3月期第1四半期	6,944	16.1	128	69.8	201	159.3	127	189.9

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 210百万円 (64.7%) 28年3月期第1四半期 127百万円 (247.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	82.47	—
28年3月期第1四半期	50.13	—

(注)当社は、平成28年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	12,590	3,840	30.0
28年3月期	13,145	3,693	27.6

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 3,770百万円 28年3月期 3,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	30.00	—	25.00	—
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		15.00	—	25.00	40.00

(注)当社は、平成28年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成28年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,090	0.0	355	2.8	390	△22.8	214	△31.7	84.32
通期	30,801	6.2	998	7.2	1,096	0.3	660	0.4	260.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	2,703,200 株	28年3月期	2,703,200 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	165,282 株	28年3月期	165,282 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	2,537,918 株	28年3月期1Q	2,537,918 株

(注)当社は、平成28年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式数)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の低迷や円高による企業収益の伸び悩みに加え、英国のEU離脱による欧州経済の影響等が懸念材料となっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、ハードとサービスを融合した仕組みの販売を中心に据え、顧客増による利益の創出を行い、専門店の強みを活かした体制を構築いたしました。

店舗展開におきましては、パソコン専門店「アプライド」25店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」をインショップ含め14店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」4店舗を運営し、それぞれの専門店としての差別化を推進いたしました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするS I営業では、22拠点を展開し、高付加価値商品及びサービスの充実を図り、ソリューション営業を推進いたしました。

B to B販売を中心とした特機営業では、大都市圏における商材調達と販路開拓を行い、システムによる顧客の囲い込みを推進し、売上の増大を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間による売上高は76億95百万円（前年同期比110.8%）、利益面におきましては、営業利益3億1百万円（前年同期比234.3%）、経常利益3億3百万円（前年同期比150.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億9百万円（前年同期比164.5%）となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

- ① パソコン・ゲーム事業は、専門店として、独自商品及びシステム・サービスの提供を重点項目として取り組み、他社との差別化を図り、売上高は66億25百万円となりました。
- ② 化粧品・雑貨事業は、大型店舗による店舗販売の強化を行い、イベントの開催や差別化商品を中心とした品揃えの充実を図り、売上高は9億88百万円となりました。
- ③ 出版・広告事業は、紙媒体に加え、デジタルを活かした送客システムやイベントの充実により、顧客幅の拡大を行うことにより、売上高は81百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億55百万円減少し、125億90百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少5億13百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ7億2百万円減少し、87億50百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少4億61百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1億46百万円増加し、38億40百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加1億45百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、30.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では、平成28年5月13日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,536	1,023
受取手形及び売掛金	4,232	4,169
たな卸資産	1,864	1,854
その他	313	323
貸倒引当金	△53	△57
流動資産合計	7,892	7,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,735	1,749
土地	2,499	2,499
その他(純額)	93	114
有形固定資産合計	4,328	4,362
無形固定資産		
	20	19
投資その他の資産		
敷金及び保証金	787	780
その他	116	113
投資その他の資産合計	903	894
固定資産合計	5,253	5,277
資産合計	13,145	12,590

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,474	2,013
短期借入金	759	777
1年内返済予定の長期借入金	1,128	1,084
未払法人税等	370	88
賞与引当金	232	87
ポイント引当金	60	58
その他	1,235	1,454
流動負債合計	6,262	5,564
固定負債		
長期借入金	2,623	2,646
長期未払金	402	402
退職給付に係る負債	163	136
その他	0	0
固定負債合計	3,189	3,185
負債合計	9,452	8,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	406	406
利益剰余金	2,928	3,074
自己株式	△91	△91
株主資本合計	3,624	3,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
非支配株主持分	68	69
純資産合計	3,693	3,840
負債純資産合計	13,145	12,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	6,944	7,695
売上原価	5,436	5,954
売上総利益	1,508	1,741
販売費及び一般管理費	1,379	1,439
営業利益	128	301
営業外収益		
受取利息	1	1
受取手数料	2	4
協賛金収入	2	4
受取補償金	77	-
その他	3	2
営業外収益合計	87	12
営業外費用		
支払利息	12	10
その他	2	0
営業外費用合計	14	10
経常利益	201	303
税金等調整前四半期純利益	201	303
法人税、住民税及び事業税	64	77
法人税等調整額	10	15
法人税等合計	74	93
四半期純利益	127	209
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	127	209

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	127	209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
その他の包括利益合計	△0	0
四半期包括利益	127	210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127	209
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。